

若年者ものづくり競技大会の選手がとらえた課題について C2

競技職種：フライス盤

選手についてのアンケート結果

選手の保有資格

	人数
3級（フライス、保全、検査）、製図	1
機械加工3級旋盤、機械検査3級	1
機械加工技能士 フライス盤3級	1
技能検定フライス盤2級	1
技能検定フライス盤3級	2
旋盤・フライス・シーケンス3級・二種電工	1
旋盤3級	1
なし	1
普通旋盤2級	1
普通旋盤3級	2
普通旋盤作業2級	1
普通旋盤作業3級	1
無し	1

課題についてのアンケート結果

(1) 事前公表課題の難易度（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	5	2	13	1	5

(2) 事前公表課題対策（欠損値：0）

	対策はしなかった	対策をした
人数	2	24

(3) 競技課題作製個数 (欠損値 : 2)

	1~10個	11~20個	21~30個	31~40個
人数	13	8	1	2

(4) 課題の難易度

・部品①②の加工工程 (欠損値 : 0)

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	11	1	11	1	2

・部品①加工 (欠損値 : 1)

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	8	1	7	1	8

・部品②加工 (欠損値 : 1)

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	11	5	6	1	2

・組立精度 (欠損値 : 0)

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	7	1	9	1	8

(5) 対策内容

	人数
・部品の加工手順 ・組立てたときの公差	1
1±0.02の組立て寸法への対策の同じ段取りで部品①の溝（h=23）と上面（正面フライス加工）加工でした。	1
zの原点出し、バリ取り	1
加工手順、寸法入れ	1
過去の課題を練習した	1
課題の練習	1
紙を使っての0合わせを変更した。	1
競技課題を作製し、ミスや失敗の原因を考える。	1
組寸を出すため、六面体の精度を上げた。	1
繰り返しの練習	1
工程手順と切削方法	1
勾配の時間を短縮するために、はやい時期から練習をしていた。	1
勾配の練習	1
作業手順の確認	1
全体的な対策	1
どのように切削すればタイムを縮めれるか。	1
初めての大会で、経験も少なかったので時間内に入るように加工の無駄を無くすことでした。	1
部品①両解放による変形の取り方 x軸の基準を決めて加工を行った	1
フライス盤2級の課題をある程度作れるレベルにして事前公表課題に取り組んだ。	1
フライス盤の2級課題を1年生の時から取り組んだ。	1
練習	1
六面仕上の工程を工夫し、両解放部のゆがみを少なくする練習を行いました。	1